

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年2月13日

【四半期会計期間】 第84第3四半期(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

【会社名】 日本ピグメント株式会社

【英訳名】 Nippon Pigment Company Limited

【代表者の役職氏名】 取締役社長 加藤 龍 巳

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田錦町三丁目20番地

【電話番号】 03(6362)8802

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員 総務部・経理部・システム部担当 今井 信 一

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田錦町三丁目20番地

【電話番号】 03(6362)8802

【事務連絡者氏名】 経理部長 横田 隆 久

【縦覧に供する場所】 日本ピグメント株式会社営業所(大阪)
(大阪市中央区道修町一丁目7番10号(扶桑道修町ビル))

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第83期 第3四半期 連結累計期間 | 第84期 第3四半期 連結累計期間 | 第83期 |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2018年4月1日 至 2018年12月31日 | 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日 | 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 35,329,466 | 31,485,540 | 45,916,040 |
| 経常利益 (千円) | 858,559 | 213,814 | 884,156 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円) | 539,011 | 32,505 | 554,318 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 53,724 | 131,100 | 97,869 |
| 純資産額 (千円) | 14,143,667 | 13,918,101 | 14,185,995 |
| 総資産額 (千円) | 32,347,186 | 31,282,355 | 32,705,505 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | 343.30 | 20.70 | 353.06 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円) | | | |
| 自己資本比率 (%) | 41.0 | 41.4 | 40.6 |

| 回次 | 第83期 第3四半期 連結会計期間 | 第84期 第3四半期 連結会計期間 |
|-------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間 | 自 2018年10月1日 至 2018年12月31日 | 自 2019年10月1日 至 2019年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失() (円) | 134.33 | 2.85 |

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び当社の関係会社)が判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いているものの、生産および輸出が弱含んでいる状況が継続しており、製造業を中心に景況感は慎重さが増しております。さらに、米中間の貿易摩擦による中国経済の減速懸念もあり先行きは一層不透明な状況となっております。

このようななか当社グループにおいては、2019年初めからの国内での樹脂コンパウンド需要の低迷が続いたことから、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は314億8千5百万円(前年同期比10.9%減)となり、国内が好調であった前年同期と比べ転じ、経常利益は2億1千3百万円(前年同期比75.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3千2百万円(前年同期比94.0%減)となりました。

当社グループのセグメント業績は次のとおりであります。

日本

国内部門別の概況として当社主要事業である樹脂コンパウンド部門は、過度の在庫調整はやや底打ち感はあるものの、米中協議の先行き不透明感等から、受注は上半期より若干回復したものの力強さに欠け、生産合理化を始め各種経費削減に引続き注力しましたが、部門営業利益は昨年を下回りました。

樹脂用着色剤部門は、フィルム、繊維関連等の中国向け製品が販売不振の影響を受けましたが、国内自動車向け及び一部のフィルム関連は堅調に推移したことから部門営業利益は昨年並みに留まりました。

最後に加工カラー部門は、一部の建材産業向けは堅調に推移しましたが、中国経済の低迷の影響を受け全般的に伸び悩むなか、新工場の償却負担もあり部門営業利益は昨年を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は185億7千3百万円(前年同期比10.7%減)、営業損失は1億6千9百万円(前年同期営業利益5億5千4百万円)となりました。

東南アジア

東南アジアは、世界経済の伸び悩みから全般的に販売数量は減少となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は126億3百万円(前年同期比9.9%減)となりました。一方で、営業利益はインドネシアでの自動車産業向けで為替調整による販売価格見直しが収益へ寄与し、4億1千7百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

その他

その他は、中国での景気減速の影響を大きく受け、当第3四半期連結累計期間の売上高は3億8百万円(前年同期比42.2%減)、営業損失は4千7百万円(前年同期営業損失1百万円)となりました。

当第3四半期連結会計期間の総資産は312億8千2百万円と前期末の327億5百万円に比べ14億2千3百万円の減少となりました。

資産のうち流動資産は148億2千万円と前期末の159億7千1百万円に比べ11億5千1百万円の減少となりました。この主な要因は現金及び預金が3億3千4百万円、受取手形及び売掛金が4億4千6百万円、製品が4億9千4百万円それぞれ減少したことなどによるものです。固定資産は164億6千2百万円と前期末の167億3千4百万円に比べ2億7千1百万円の減少となりました。この主な要因は有形固定資産が2億1千3百万円、投資有価証券が2億2百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

負債合計は173億6千4百万円と前期末の185億1千9百万円に比べ11億5千5百万円の減少となりました。負債のうち流動負債は118億2千2百万円と前期末の129億4千6百万円に比べ11億2千4百万円の減少となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が4億1千7百万円、その他が5億8千1百万円それぞれ減少したことなどによるものです。固定負債は55億4千2百万円と前期末の55億7千3百万円に比べ3千1百万円の減少となりました。この主な要因は長期借入金6千3百万円減少したことなどによるものです。

純資産合計は139億1千8百万円と前期末の141億8千5百万円に比べ2億6千7百万円の減少となりました。この主な要因は非支配株主持分が6千8百万円増加し、為替換算調整勘定が2億3百万円、利益剰余金が9千3百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において当社グループの経営方針・経営戦略等について、重要な変更等はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において当社グループが事業上及び財務上の対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発費は1億9千9百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 3,000,000 |
| 計 | 3,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (2020年2月13日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|---|-----------------------------|------------------------------------|--|
| 普通株式 | 1,575,899 | 1,575,899 | 東京証券取引所 (市場第二部) | 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 1,575,899 | 1,575,899 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|-------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2019年12月31日 | | 1,575,899 | | 1,481,159 | | 1,047,700 |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので直前の基準日である2019年9月30日現在で記載しております。

【発行済株式】

2019年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|---------------------------|----------|--|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 5,900 | | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。 単元株式数は、100株であります。 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 1,563,000 | 15,630 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 6,999 | | |
| 発行済株式総数 | 1,575,899 | | |
| 総株主の議決権 | | 15,630 | |

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式42株が含まれております。

2 なお、当第3四半期会計期間末日現在、当社所有の自己株式は5,942株(うち単元未満株式42株)であり、全て普通株式であります。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 日本ピグメント株式会社 | 東京都千代田区神田錦町 3丁目20 | 5,900 | | 5,900 | 0.37 |
| 計 | | 5,900 | | 5,900 | 0.37 |

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、アーク有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,859,973 | 2,524,998 |
| 受取手形及び売掛金 | 1 7,401,395 | 1 6,955,374 |
| 製品 | 2,865,465 | 2,370,871 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,493,270 | 2,440,807 |
| その他 | 351,577 | 528,464 |
| 貸倒引当金 | 300 | 300 |
| 流動資産合計 | 15,971,383 | 14,820,216 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,644,632 | 3,515,201 |
| 土地 | 3,846,414 | 3,838,431 |
| その他(純額) | 2,939,533 | 2,863,247 |
| 有形固定資産合計 | 10,430,580 | 10,216,879 |
| 無形固定資産 | 220,580 | 252,687 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,302,754 | 5,100,172 |
| 退職給付に係る資産 | 289,646 | 349,624 |
| 繰延税金資産 | 186,779 | 210,630 |
| その他 | 318,045 | 346,408 |
| 貸倒引当金 | 14,265 | 14,265 |
| 投資その他の資産合計 | 6,082,960 | 5,992,571 |
| 固定資産合計 | 16,734,122 | 16,462,139 |
| 資産合計 | 32,705,505 | 31,282,355 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1 6,822,384 | 1 6,404,776 |
| 短期借入金 | 3,786,755 | 3,748,038 |
| 未払法人税等 | 103,760 | 129,959 |
| 賞与引当金 | 192,374 | 79,994 |
| その他 | 1 2,040,952 | 1 1,459,380 |
| 流動負債合計 | 12,946,227 | 11,822,149 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,189,329 | 4,126,191 |
| 繰延税金負債 | 903,875 | 909,135 |
| 退職給付に係る負債 | 416,417 | 443,115 |
| その他 | 63,662 | 63,662 |
| 固定負債合計 | 5,573,283 | 5,542,104 |
| 負債合計 | 18,519,510 | 17,364,253 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,481,159 | 1,481,159 |
| 資本剰余金 | 1,033,980 | 1,033,981 |
| 利益剰余金 | 9,719,627 | 9,626,536 |
| 自己株式 | 18,242 | 18,241 |
| 株主資本合計 | 12,216,525 | 12,123,435 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,871,634 | 1,813,981 |
| 為替換算調整勘定 | 610,816 | 814,533 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 188,414 | 170,367 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,072,402 | 829,080 |
| 非支配株主持分 | 897,067 | 965,585 |
| 純資産合計 | 14,185,995 | 13,918,101 |
| 負債純資産合計 | 32,705,505 | 31,282,355 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 35,329,466 | 31,485,540 |
| 売上原価 | 32,042,413 | 28,998,782 |
| 売上総利益 | 3,287,052 | 2,486,758 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,357,746 | 2,285,871 |
| 営業利益 | 929,306 | 200,886 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,063 | 6,425 |
| 受取配当金 | 78,518 | 81,525 |
| 持分法による投資利益 | - | 7,797 |
| 為替差益 | - | 8,188 |
| その他 | 76,382 | 39,794 |
| 営業外収益合計 | 157,963 | 143,730 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 86,866 | 108,614 |
| 持分法による投資損失 | 14,937 | - |
| 為替差損 | 87,211 | - |
| その他 | 39,693 | 22,189 |
| 営業外費用合計 | 228,709 | 130,803 |
| 経常利益 | 858,559 | 213,814 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 3,184 | 5,401 |
| 投資有価証券売却益 | - | 7,445 |
| 特別利益合計 | 3,184 | 12,846 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 1,717 | 2,365 |
| 特別損失合計 | 1,717 | 2,365 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 860,027 | 224,295 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 227,796 | 106,656 |
| 法人税等調整額 | 70,953 | 2,501 |
| 法人税等合計 | 298,750 | 109,158 |
| 四半期純利益 | 561,277 | 115,137 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 22,265 | 82,631 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 539,011 | 32,505 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 561,277 | 115,137 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 293,487 | 57,653 |
| 為替換算調整勘定 | 308,302 | 331,046 |
| 退職給付に係る調整額 | 39,952 | 16,339 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 54,285 | 126,122 |
| その他の包括利益合計 | 507,552 | 246,238 |
| 四半期包括利益 | 53,724 | 131,100 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 104,497 | 210,816 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 50,772 | 79,715 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|-----------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形及び売掛金 | 59,023千円 | 34,839千円 |
| 支払手形及び買掛金 | 47,622 " | 39,335 " |
| その他(流動負債) | 65,405 " | 24,534 " |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 801,040千円 | 944,824千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|--------------------|-------|-------|----------------|-----------------|------------|-----------|
| 2018年5月11日 取締役会 | 普通株式 | 利益剰余金 | 125,606 | 80.00 | 2018年3月31日 | 2018年6月8日 |

2 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|--------------------|-------|-------|----------------|-----------------|------------|-----------|
| 2019年5月10日 取締役会 | 普通株式 | 利益剰余金 | 125,596 | 80.00 | 2019年3月31日 | 2019年6月7日 |

2 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|------------|------------|------------|-------------|------------|---------|-------------------------------|
| | 日本 | 東南アジア | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 20,801,142 | 13,994,493 | 34,795,635 | 533,831 | 35,329,466 | | 35,329,466 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 347,391 | | 347,391 | 110,939 | 458,330 | 458,330 | |
| 計 | 21,148,533 | 13,994,493 | 35,143,026 | 644,770 | 35,787,797 | 458,330 | 35,329,466 |
| セグメント利益又は 損失() | 554,287 | 376,208 | 930,496 | 1,190 | 929,306 | | 929,306 |

(注) 1 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|------------|------------|------------|-------------|------------|---------|-------------------------------|
| | 日本 | 東南アジア | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 18,573,538 | 12,603,294 | 31,176,833 | 308,706 | 31,485,540 | | 31,485,540 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 326,178 | | 326,178 | 88,376 | 414,555 | 414,555 | |
| 計 | 18,899,717 | 12,603,294 | 31,503,012 | 397,083 | 31,900,095 | 414,555 | 31,485,540 |
| セグメント利益又は 損失() | 169,363 | 417,283 | 247,919 | 47,032 | 200,886 | | 200,886 |

(注) 1 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益 | 343円30銭 | 20円70銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益(千円) | 539,011 | 32,505 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円) | 539,011 | 32,505 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 1,570 | 1,569 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月13日

日本ピグメント株式会社
取締役会 御中

アーク有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 二 口 嘉 保 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 長 井 裕 太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本ピグメント株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本ピグメント株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。